

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373000534
事業所名	グループホーム メナージュかずえ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	管理者は豊田市の高年大学で、認知症への理解を深めるための講演を行っている。地域とのつながりを重視し、事業所が地域の介護の要となれるよう交流を深めている。認知症の出前講座やイベントを行い、地域の人がいつでも来訪できる体制をとっている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月毎に年6回行われ、民生委員、区長、地域包括センター職員、家族など多数の参加が得られている。開かれたホームを目指し、活動、行事、生活状況、利用者の介護度の変化についての詳しい報告をしている。利用者の目標達成計画の経過や防災活動、アンケート結果などについても報告し、質疑応答により今後の活動に反映できるよう努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	管理者は、地域で認知症に関する講演に講師として出席したり、役所の担当者や包括支援センターとは日頃から連絡・連携を取り合っている。また、職員は市町村主催の研修には積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	来訪時や運営推進会議に参加の折に、家族の意見や要望を聞きだしている。家族の多くの心配事は、入院後にホームに戻ってこられるかの不安が多いが、そうなった場合は、色々な選択肢を提供しサポートをする体制がとられている。家族からの意見、要望には真摯に向き合い対処する姿勢がうかがえる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	○				